

第2回篠路駅東口駅前広場の在り方検討会議を開催しました！

平成30年6月に開催した第1回目の会議に引き続き、第2回目の「篠路駅東口駅前広場の在り方検討会議」を平成30年7月30日(月)に開催しました。

今回の検討会議では、第1回目で話し合った内容や、篠路駅周辺のアンケート調査結果や、軟石倉庫の活用する場合の提案などから駅前広場の方向性について話し合いました。



アンケート調査結果や軟石倉庫の活用について説明

アンケート調査結果等について

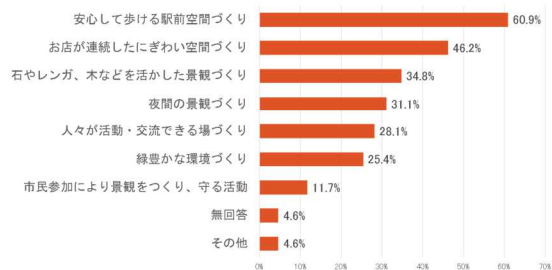
はじめに、事務局である札幌市より、第1回目の会議内容の振り返りと、篠路地区住民を対象としたアンケート調査の結果、篠路駅周辺地区のまちづくりのイメージなどについて説明を行いました。

軟石倉庫の活用方策等について

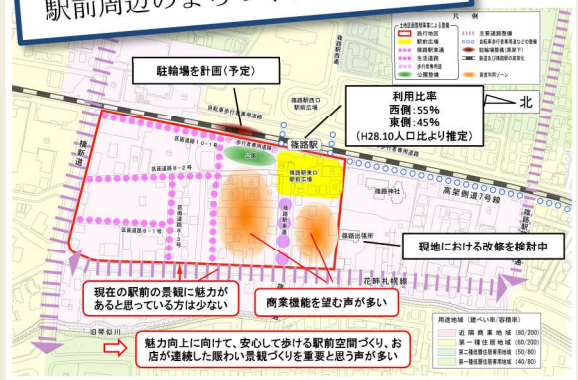
「わきあいあい篠路まちづくりの会※」より、篠路駅前の軟石倉庫活用に向けたこれまでの取り組みについて説明いただき、その後、倉庫の「歴史的地域資産」としての価値の評価や、軟石倉庫の保存活用に向けた具体的な提案として今後の活用方策、倉庫を活かしたまちづくりについてお話いただきました。

2. アンケート調査(篠路駅東側駅前の魅力向上)

4-Q2 これからの篠路駅東側駅前の魅力向上に向けた取組について、あなたが重要だと思うものは何ですか。(当てはまる項目すべてに○)



駅前周辺のまちづくりのイメージ



1. 地域資源を生かしたまちづくり: 3つの目標

- 篠路駅東口・駅前通り空間: 地域住民に親しまれている軟石・煉瓦・緑などの地域資源を再評価・活用し、地域固有の魅力ある広場空間・ストリートをつくり出す。▶拠点づくり
- 駅西口を含めた篠路駅周辺地区: 地域資源を守りつつ新たな賑わいを創出するために、地域活動の活性化や駅前地区の高度利用へと繋げる。▶エリアづくり
- 篠路地区全体: 地域資源を生かしたまちづくり・再生活動を通して、地域の次世代を担う人づくりへと結び付けていく。▶コミュニティづくり

案: 篠路軟石倉庫群 777ピースサポーター

- 軟石倉庫群の構造材である札幌軟石(ピース)の保存・活用を目的とする支援制度を創設する。
- 個人・法人などから出資を募り運用する。
- 歴史的建造物たる軟石倉庫建築物を未来へと継承していくために、耐震改修・修繕・維持管理・イベント等への原資として制度と資金を活用する。



篠路駅東口駅前広場の在り方検討会議の詳しい内容については札幌市 HP (<http://www.city.sapporo.jp/toshi/kukaku/shinoro/shinoro.html>) で公開しております。是非ご覧ください！！

※ 昨年度の市主催の「みんなの想い取りまとめ会議」開催後、引き続き篠路のまちづくりについて考えていく場として参加者有志により結成

話し合いのポイント

駅周辺のまちづくりの視点から、

- ★ 駅前広場の機能をどのように考えるか
- ★ 駅前の軟石倉庫を残す場合の事業性や現実性はどうか



話し合いの様子

駅前広場の整備について

将来のビジョンを検討し、公共交通やバリアフリー、篠路出張所の機能、まちの発展に寄与する機能など、まちづくりの視点から様々な検討が必要だという意見が出されました。

駅前広場のバリアフリーや、交通などのことも議論が必要。



ロータリー形状、交通、商業といった事項に対し、もう少し札幌市の考えを明示する必要がある。

ロータリー形状と軟石倉庫といった切り口がある中で、検討会議として何を優先すべきか決める必要がある。

ロータリー形状を決め、札幌市に提案する必要がある。

出張所の機能について検討する機会でもあり、それも踏まえてロータリーの形状を議論すべき。

軟石倉庫の活用可能性について

軟石倉庫について、残す必要性、残す場合の課題や活用方法などについて意見が出されました。

まちづくりの視点のなかで考え、必要であれば残すなど原点に立ち返るべき。

倉庫群より、篠路駅や駅前の松に由緒を感じる。

倉庫所有者の意向を尊重すべき。

コストや耐震性などの課題を挙げて、乗り越えることが可能か検討したほうがよい。

倉庫を残すことありきで進められているように感じる。



軟石倉庫に魅力を感じない、駐輪場で自転車が溢れているなどの意見がある。



倉庫を残すための費用を集めるスケジュールなどが見えなければ難しいのではないかと。

クラウドファンディングなど、地域外からの支援を募り盛り上げていくことを積極的に考えていく必要があるのではないかと。



事業を遅らせないことを重視する中で、すぐに魅力的な使い方を提案することは難しいが、時間を掛けて、魅力的な空間として活用できる可能性がある。

お知らせ

次回の「篠路駅東口駅前広場の在り方検討会議」は10月2日(火)の予定です。

第3回の検討会議は、篠路出張所において10月2日(火)18時からの開催を予定しています。当初開催予定であった9月12日(水)から延期しておりますので、ご注意ください。公開で行いますのでどなたでも傍聴可能です。また結果については、引き続き、シノロナビでお伝えする予定です。



お問い合わせ先



札幌市まちづくり政策局都市計画部事業推進課 担当：森川・若林

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎4階

TEL 011-211-2706 FAX 011-218-5113

MAIL jigyousuishin-kei@city.sapporo.jp



メールアドレスはQRコードから読み取れます↑